

令和8年度 第1回 麻績村総合教育会議 議事録

1. 日時 令和8年6月9日(火) 午前9時30分から午前10時30分

2. 場所 麻績村地域交流センター第3・4研修室

3. 出席者

(構成員)

麻績村長

塚原 勝幸

教育委員会

教育長

加瀬 浩明

教育長職務代理者

小山 正文

委員

小松 小百合

委員

高野 羊子

(構成員以外の出席者)

麻績保育園長

塚原 京子

麻績小学校長

尾台 弘枝

筑北中学校長

大鷹 宏彰

事務局職員 3名

傍聴者 0名

(会議開会 午前9時30分)

1. 開会

○加瀬教育長

皆さんおはようございます。令和8年度麻績村総合教育会議を開催します。どうぞよろしくをお願いします。

2. あいさつ

○塚原村長

おはようございます。今年も麻績村の地域において田植えもほぼ終わりました、新緑が水面に映り、さらなる美しさを感じられる今日この頃でございます。本日は、教育委員の皆様方、そして園長、先生方におかれましては大変お忙しいところ総合教育会議に出席いただきましてありがとうございます。皆様におかれましては日頃から学校教育の推進に向けてご尽力いただいていることに感謝申し上げるところでございます。

今一番の話題は、クマのニュースであります。昨日は、松本岡田地区で学校が休校になったそうであります。麻績村においては、クマの目撃情報は今のところありません。近隣では罠にかかっているという状況で一昨日は緊急銃猟したということでもあります。何れに

しましても、クマは一日に 30～40 km も移動するそうです。麻績村においても安全に気を付けて行かなければならないと思います。そのような情報が入れば対応しなければいけないと思います。

教育環境の充実においては、施設整備等において日々いろいろさせていただいております。ソフト面においてもできる限り整備を進めております。熱中症の心配のある時代においては、空調の効いた環境の中で、子どもたちが勉強できることは幸せだなと感じます。

8 年度事業において、保育園小中学校から要望が上がってきている全部が網羅できなくて誠に申し訳なく思っております。やはり予算の範囲内で極力教育環境の充実に向けて取り組みをしているところでございます。

教育環境の充実と併せて、子育てする保護者の負担軽減において皆さんご承知の通り、いろいろな分野で補助を出したり無料化にしたり取り組みをさせていただいております。

毎月資料を持ち寄りながら、より良い教育の推進に向けて話し合いを持たれ、かつ麻績村の子どもたちをしっかりと教育していただいていることに感謝申し上げます。

ICT 教育においては、児童生徒に一人一台端末を活用する中で、学力向上に向けて推進しております。しかしながら、生成 AI や ChatGPT において子どもたちの書く力や考える力はどうなるのか心配なところもあります。グローバルな世界の中で勝ち抜いていくには、先進的な部分の教育も取り入れていかなければ、どうしても遅れてしまいます。今後どのくらい進化していくのか不安な要素もありますが、DX という形で進化していく部分でもありますので、子どもたちの底上げをし、取りこぼしのないようにお願いします。

一貫教育につきましては、取組みについていろいろな方向性が出されています。長野県下においても様々な学校がありますが、やはり九年間をどうやって行こうかという検討に入ってくるのではないかと思います。子どもたちの基礎部分を築き上げるという部分があります。基礎をしっかりとすることによって、将来の子どもたちの人生が変わってくることがあろうかと思います。また、確かな学力を身につけるといことで、知識・技術・思考力・想像力を育みバランスの良い子どもたちの育成をお願いします。子どもたちは、今後麻績村から外へ出ていくということもございます。グローバルな世界で戦っていかななくてはなりません。心豊かで逞しくそして、精神的に打たれ強い子どもたちの育成に努めていただきたいと思います。学校の温室形態の中から社会の荒波に入った時に、自分の思った理想と違って、すぐに崩れてしまうというような若い子が多いわけです。肉体的な部分は一時的に休めば良くなりますが、精神的な部分はなかなか復活しにくい所です。グローバルな世界で戦っていくためには、精神的に強い子どもたちの育成が今後必要ではないかと思います。そういった意味でも一貫教育も徐々に推進していかなければならないかと思います。

もう一点は、自然環境教育であります。学校教育の中で完結してしまうことが多いのではないかと思います。自然豊かな麻績村の中で育っていても、子どもたちが自然を知らない。また文化や歴史を知らないまま麻績村を卒業してしまうことが往々にしてあるのではないかと思います。そういう意味では、教育委員会でおみっこ元気くらぶの活動を続けさせていただいております。麻績村の自然、文化、歴史、伝統をしっかり思い出として持ってもらいたいです。一旦は村を出て都会に行っても、「麻績村にはこんなにいい所があるよ」と自慢できるようになってほしいです。何れは村に帰ってきていただきまして、しっかりと支えていただければありがたいと思います。

遅しく、明るくのびのびと育つ子どもたちの育成について大変ではありますが、それぞれ先生方においてはご尽力いただければと思います。

今、学校現場では様々なことが変わろうとしていますし、先生方の負担軽減のための国の方策が色々なされています。先生方も余暇等の活用を図りながら鋭気を養って、次の日の子どもたちの指導に向けていただければと思います。そうは言っても、授業を終え明日の授業の準備など遅くまでお勤めいただいていることに敬意を表します。

本日は、教育委員会からこのように沢山の資料が出されています。この中から新たな学力向上につながる対応につながっていただければと思います。子どもたちのためにご努力いただいていることに感謝を申し上げます。麻績の子どもたちが元気に心遅しく力強く育つようさらなる願いを申し上げ、挨拶とさせていただきます。

○加瀬教育長

皆様方から何かあればお願いします。

○塚原村長

ICT 教育の中で、でタブレット機器を使っていますが生成 AI の使用はどうなっていますか。

○大鷹校長

中学校の現場では、ChatGPT は使えます。出てきた答えに対して自分で判断し、検証するようにしています。答えを探す使い方というより、子どもたちの一番の使い方は、生徒会などみんなの前で発表するときのプレゼンテーション原稿をもとに絵を出してくれます。今までだと、パワーポイントで作図しようとするので 2～3 時間かけて図を作っていました。が、パッと出してくれます。問題に対する答えはどうですかという使い方はしていません。

○高野委員

今の話を聞いて、ICT の専門の先生を付けてほしいと思います。先生方非常に難しい状況に置かれているのではないかと感じます。子どもはどんどん吸収していきますが、大人は難しいです。

○加瀬教育長

塩尻市振興公社で一貫してやっていただいております。筑北地域は同じ形で動いております。なので地域によって差が出ないように気を付けながらお願いしています。

○塚原村長

子どもたちの吸収力はすごいものがあります。今心配されているのが、セキュリティです。子どもたちが色々なサイトに入れてしまうので、その部分についてはしっかりと認識しておかなければならないかと思っています。SNS での書き込みでも一旦発信してしまうと取り返しが効かないという怖さもあります。子どもたちに危険性を教えていかないと、このように進化していく中では、限らない方向へ行ってしまう可能性があります。

○小松委員

今の学びについて麻績村では、これからの時代に一番必要だとされている主体性に重きを置いて、保小中で連携しながら子どもたちの主体性が伸びる取り組みをしていると感じます。少ない予算の中で、比較的子育てに関して手を打っているように感じます。小さい村なりに教育に力を入れて取り組んでいると思います。ただ、まだまだ子どもたち一人ひとりに様々なニーズがあって、細かく手を入れていくのは難しいです。今の子育て世代の保護者にとっては、整っていて当たり前と思っています。麻績村はこんなに頑張っているんだよというところをもっとアピールできたらいいなと思います。

これだけ環境が整っていても、例えば学校にいけないとか家の中にこもってしまっている子どもたちもいるのも事実です。細かく手が入っていけるような体制ができていけばと感じています。

○塚原村長

子育ての支援といったところで、数十年前とは雲泥の差であることは事実です。麻績村においても18歳まで医療費は無料化しています。保小中の給食費無料化で保育園の一歳児は半額となっています。一歳児の無料化にならないのは、他所も同様ですが体制が整わない理由があります。今年度から二歳児から無料化ということで推進しております。保小中高まで授業料無料化となっていますし、いずれは大学もというところで動いていくのではないかと思います。以前は福祉において主体だったのは、高齢者福祉に重点が置かれていました。今の少子高齢化においては子育て支援に重点が置かれています。麻績村の補助金関係を一覧にしたところ約70事業くらいありました。松本市あたりでは、個人に対する補助金は、1/3もありません。小さな村ほど手厚くしています。しかしながら人口が増えてこないのが実情であります。長野県下には77市町村あります。その中で人口が増えたのは4町村しかありません。全国的に少子高齢化が進んでいて、5年間で300万人減少しています。年間にすれば60万人ほど減少していることになっています。鳥取県が52万人、島根県が63万人、高知県が64万人の人口になります。90万人以下の人口の都道府県が9つあります。毎年一つずつ県の人口がなくなっていることになります。このような中で少子高齢化が解消でき、人口が増加すればある程度いろいろなものが解消できると言われます。減っていく一方なので解消できずに、課題がどんどん上乗せされています。他の町村を見ましても、小さな町村ほど手厚い子育て支援をしているかと思います。麻績村で管理している住宅が84世帯ございます。その中で小中学校の子どもたちが1/3から半分弱住んでいます。集落によっては誰も子どもがいらないというところもあります。やはり村においては子どもたちの声が響き渡る活気ある集落が増えてくればと思います。子育て支援が一番の部分になりますので、ご要望があれば一つでも二つでも進められればと思います。

○小山職務代理

ICT等情報教育のなかで、多くの情報があります。そのなかで情報の取捨選択能力が必要になってきます。子どもたちも生きていく力として、小さいうちから力をつけていかなければならないと思います。井の中の蛙ではなく荒波の中で生き抜く力を身につけてほしいです。学力も大切ですが、生き抜く力を学んでほしいと思います。

○塚原村長

ニュースの中でも考えられないような犯罪があります。今言われたとおり、自分に責任を持てる子どもの育成が重要かと思います。家庭では良いこと悪いことがしっかり言えないようになっているのではないかと感じます。子どもが強くなってきているような状態も見受けられます。このような社会では、両親共稼ぎでないとなかなか時代感覚に乗った生活が難しくなっています。子どもたちも0歳児から保育園に預けられる中で、どれだけ親が子どもに愛情を注げられるかと躾の部分はどうやっていくかが大事ではないかと思います。良いこと悪いこと等も含めて方向づけしてあげることも必要なのではないかと思います。家庭での教育環境の大切さというものは、事あるごとにしっかり伝えていただくことをお願いします。

○加瀬教育長

ありがとうございました。塚原村長より一つひとつお答えいただきました。

報告が遅れました。本日、坂口委員が都合によりご出席いただけませんでした。この後皆様よりご要望があればということですが、坂口委員よりいつもスクールバスの要望が出ています。様々な事情があつて難しい現状であるという前回村長からの説明があつたわけですが、また伝えてほしいというご要望がありました。

委員の皆様からも何かご要望等あればお願いします。

○塚原村長

都会からの移住定住の引き合いが多くなっています。しかしながら、土地を買って家を建てる方はほとんどいません。空き家を活用したいという方ばかりです。

2年前に調査をしました。空き家が238件あつて、そのうち160～170件は使えるということでした。貸したり売ったりしてもいいという方が少ないということでした。空き家情報に乗せる件数がないものですから、なかなか問い合わせがあつても紹介ができない実情にあります。

長野県は、移住したい県1位か2位を前後しているところでございますが、各町村とも空き家の活用にはものすごく力を注いでいます。御代田町、南箕輪村、原村、南牧村の4町村が増えています。そのほかは減少傾向になります。近所に情報があれば提供いただければと思います。またそのような情報を都会に発信できればと考えています。

都会から移住してきたいな、定住したいなという方々が増えてくれば、村の人口も増えてくるところでございます。自然増減においては、生まれる方より亡くなる方が多いのが実情であります。社会増減においても出ていく方が多くなっているのが実情です。もっと多くの方に麻績村に来ていただければと思います。

3. 協議内容

① 麻績村教育大綱について

- ・教育大綱は総合教育会議において毎年見直し、必要であれば改定が可能

○加瀬教育長

総合教育会議では教育大綱の見直しができる唯一の会議であります。昨年は、この振興計画をもって教育大綱にすることをご承認いただきました。しかし、状況によって動きがあるので見直しが必要な部分があればご意見をいただきたいと思います。

非常に大事なことでありますから、もう一度読み込んでもらって意見をまとめていただいて次回以降で扱っていかねたらと考えています。

4. 意見交換

○加瀬教育長

ありがとうございます。それでは意見交換に進みたいと思います。委員の皆様いかがでしょうか。

○大鷹校長

中学校にも ICT 支援員さんに来ていただいています。来ていただいたときに、25 分程度の研修をおこなっています。今は、基本的に道具をどう活用するかというところです。ICT の道具の使い方は、子どもたちクリアしているかと感じます。どのように有効に活用していくかというところを日々研修の中で進めています。生きる力が学力だと私は捉えています。高校に行ってもきちんと自分の意見を言えること、コミュニケーションをしっかりとれる人、人と人との関りの中で伸びて行ける子を理想としながら教育にあたっていきたいと考えています。

○尾台校長

塚原村長が常々言われている「心豊かに逞しく」を本年度は今まであった学校目標の上に置きました。同じ子どもたちが、同じ目標に向かって育って行くことができるようになるといいなと思いました。ICT に関しては教育業務の効率化には有効だなと考えております。使い方に関しては中学校に準じて小学校においても使っています。低学年はほぼ端末に触ることはありません。ボタンをクリックした先に周りにどう影響があるのかイメージできる想像力が必要に思います。先週もメディア見直し週間ということで、PTA 副会長より YouTube の毘という内容で子どもたちに話をしてもらいました。恵まれている点では、おみっこ元気くらぶもそうですし、先週はわくわくの村から「衣食住にかかわる体験活動はどうですか」と提案をいただきました。せっかく恵まれているので活用していきたいと思います。

○塚原園長

保育園では子どもの生きる力を育てようというところから、子ども主体の保育に取り組んでいます。麻績村は山に囲まれていて自然が豊かですねと言われますが、保育園周辺に安全で自然に思いっきり楽しむ環境が年々少なくなっているように感じます。しかし、わくわくの村の山で遊ばせてもらったり、自然体験をしたりすることができます。子

どもたちの豊かな心を育てられていると思います。昨年から地域の方が、ヤゴやメダカを持ってきてくれます。田んぼにドジョウが沢山いるからと言って持ってきてくださいました。地域の方が、保育に関心を持たれて、声をかけていただけるのは大変ありがたいです。このようことから、どのような餌を食べるかなど子どもたちは自ら調べています。いろいろな部分で支えられながら子どもたちは育っていることに感謝しています。

○加瀬教育長

総合教育会議でやらなければならないことが三つ定められています。一つは先ほどありました教育大綱にかかわることです。それから、教育のための諸条件の整備の検討と、子どもたちの命にかかわる状況等について確認することとなっています。緊急事態の場合どうするか確認することとなっています。今日は具体的にクマの問題も出ました。やらなければならないことはすべて網羅したかと思います。細かな部分については定例会で出していただければと思います。

5. その他

○加瀬教育長

その他、皆様から何かございますか。ありがとうございました。

6. 閉会

○加瀬教育長

それでは以上をもちまして、令和8年度の麻績村総合教育会議を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

(会議閉会 午前10時30分)